

令和5年（2023）年度
横浜市スポーツ医科学センター
事業計画書



公益財団法人

横浜市スポーツ協会

YOKOHAMA SPORT ASSOCIATION

目 次

項番	項目	ページ
1 総合的な基本方針・達成目標		
1 - 1	基本方針	2
1 - 2	達成目標	2
2 事業計画		
2 - 1	S P S 実施体制	3
2 - 2	診療体制	3
2 - 3	各種事業	4
2 - 4	スポーツ医科学を通じた各種連携・地域貢献事業	9
2 - 5	研究活動	1 1
2 - 6	新規提案事業	1 2
3 職員配置・人材育成		
3 - 1	令和 5 年度人員配置計画	1 3
3 - 2	人材育成計画	1 4
4 施設管理・運営体制		
4 - 1	修繕に関する計画	1 5
4 - 2	備品更新に関する計画	1 5
4 - 3	建物・設備機器の維持保全・管理体制	1 5
4 - 4	安全・安心に関する計画	1 5
4 - 5	市民サービス・業務水準向上に関する計画	1 6
4 - 6	開館日・開館時間に関する計画	2 3
5 コンプライアンス体制		
5 - 1	個人情報保護に関する取組 ほか	2 4

1 総合的な基本方針・達成目標

1-1 基本方針

【第4期指定期間における事業方針】

- [方針1] 横浜市の健康増進・スポーツ振興に関する政策実現に向けて取り組みます。
- [方針2] 市民の皆様の健康に貢献するための良質なサービスを提供します。
- [方針3] トップアスリート・パラアスリートの競技力向上のために一層取り組みます。
- [方針4] 良質な健康サービスの提供を実現する職員・スタッフの人材育成を強化します。
- [方針5] 新型コロナウイルス感染拡大に伴う新しい生活様式における健康づくりを強力に支援します。

令和5年度は、第4期指定管理(令和3～7年度)の中間年度である3年目になります。

今年度は、第三者評価会(指定管理選定評価委員会)の開催年度であります。25年間継続して管理運営してきた実績と経験とそのノウハウを活かしながら、「事業の継続性」「人材育成」「スポーツ協会内外との安定した連携体制」を強化した努力を適正に評価していただければと考えております。

また、令和5年度は、令和5年9月から令和6年3月まで、大アリーナ及びプールの特天天井撤去及び新設による改修が計画されています。その期間においては、スポーツ教室(水泳・体操)等の事業を縮小して実施する予定ですが、利用者の皆様にご理解をいただけるように配慮していきます。

さらに、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上における位置づけの変更が行われる予定ですが、医療機関として感染拡大予防に配慮しながら管理運営を行います。

施設管理では、令和5年4月1日から本稼働をする「電子カルテ等医療システム」の安定的な運用を図るとともに、清掃・点検・修繕を適格に実施し、安全・安心・快適をモットーに取り組みます。

その取り組みの一つとして、安全で正確な治療、測定と的確な運動指導を行うために、老朽化した磁気共鳴画像診断(MRI)装置、等速性筋力測定装置、体操器具等の備品更新を進めていきます。

1-2 達成目標

(1) 外来診療

(単位:人)

診療科	数値目標	R3実績
内科(保健指導・栄養相談含む)	4,000	3,183
整形外科	21,000	19,491
リハビリテーション科	50,000	39,272

(2) スポーツ版人間ドック(SPS)(単位:人)

項目	数値目標	R3実績
一般向け	440	461
高齢者向け	300	321
ジュニア	280	275
国体等	220	175
合計	1,240	1,232

(3) 運動療法(MEC)

(単位:人)

項目	数値目標	R3実績
有酸素コース	2,990	2,661
膝・腰コース	6,210	4,351
プールコース	1,900	1,605
合計	11,100	8,617

2 事業計画

2-1 SPS実施体制

(1) スポーツ版人間ドック

医学的検査と体力測定をセットで行う「スポーツ版人間ドック」を次のとおり実施します。検査結果は参加当日にお渡しします。

ア 検査項目

[医学的検査]

①尿検査、②血液検査、③胸部レントゲン検査、④骨年齢検査、⑤呼吸機能検査、⑥安静時心電図検査、⑦運動負荷試験、⑧骨量検査、⑨血圧測定

[体力測定]

①形態・体組成測定、②柔軟性測定、③筋力測定、④瞬発力測定、⑤敏捷性測定、⑥全身持久力測定、⑦平衡性測定、⑧無酸素パワー測定、⑨最大歩行速度測定

※⑤呼吸機能検査は、感染症拡大防止のため、令和5年3月時点では中止しています。

イ スポーツ版人間ドック参加後のフォロー体制

スポーツ版人間ドック参加者への健康維持・増進のためのフォロー事業として、様々な教室事業を実施します。(具体的事業は後述)

(2) アスリートメディカルチェック

プロスポーツチームや競技団体等から依頼され、選手が大会出場等に必要なメディカルチェック(医学的検査)を行うことで、競技選手のサポートを行います。

2-2 診療体制

(1) 診療日

診療科	診療日
内科	水曜日・木曜日・金曜日・土曜日
整形外科・リハビリテーション科	月曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日

※火曜日・日曜日及び祝日と12月29日から1月3日は休診

(2) 受付・診療時間等

ア 診療受付

午前の部	8時30分～11時00分
午後の部	11時00分～16時00分

※学会等出張により在勤医師が少ない場合は、予約制診療とします。

イ 診療時間

[内科]

	月	水	木	金	土
午前	休診	9時00分～12時00分			
午後		13時00分～17時00分			

[整形外科]

	月	水	木	金	土
午前	9時00分～12時00分				
午後	13時00分～17時00分				

[リハビリテーション科]

	月	水	木	金	土
午前	10時00分～13時00分				
午後	14時00分～18時00分				

(3) 特定保健指導・特定健康診査等について

当センターでは、スポーツ医科学の知見を活かした特定保健指導・特定健康診査を行い生活習慣病の改善を推進します。

(4) 地域医療連携について

近医からの検査依頼(MRI・骨密度測定)についても積極的に受け入れ、地域連携を図ります。

また、当センター受診患者さんに高度専門医療の提供が必要な場合は、専門医療機関を紹介し、患者さんにとって最良の医療を提案します。

2-3 各種事業

(1) 運動療法(メディカル・エクササイズ・コース=MEC)

医師からの運動処方箋に基づき、整形外科系疾患(膝痛・腰痛等)、内科系疾患(心臓病・脂質異常症・高血圧症等)に対応する運動療法を提供します。

ア 実施体制

コース	実施内容
有酸素コース	内科系疾患の方を中心に、有酸素運動を基本とし、体幹を中心とした補強メニュー(筋トレ、ストレッチ、関節可動域調整等)を実施する。参加前に行う運動負荷試験の結果から設定された目標心拍数の範囲内で、有酸素運動を安全に行うために指導する。
膝・腰コース	理学療法士が開発したプログラムに基づき「膝・腰」に特化したプログラムを実施する。具体的には、ほぐしやストレッチングにより関節の正常動作の調整を図るとともに、筋力トレーニングにより患部や患部周辺の強化を指導する。
プールコース	陸上では運動制限が必要な膝痛・腰痛等の整形外科疾患や肥満症などの内科疾患を対象に、水の特性を活かした運動プログラムを実施する。

[実施曜日]

月	火	水	木	金	土	日
○	—	○	○	○	○	—

※休診日及び祝日は休止

(2) 体操教室・水泳教室

未就学児から中高生を主な参加対象とし、運動する機会の提供や、ジュニアクラスのトップアスリート育成を目指したプログラムを提供する教室事業を行います。

ア 体操教室

幼児コース	未就学児を対象とし、リズム運動・マット運動などから体操の基礎を学ぶ
児童コース	小学生を対象に、器械体操の基礎から競技に必要な高度な技の習得を目指す
選手コース	器械体操の選手として必要な体力・技術・精神力を習得し、地区大会レベルから全国大会レベルの各種大会に出場し、未来のトップアスリートを目指す

イ 水泳教室

幼児コース	未就学児を対象とし、水への恐怖心をなくし水泳の基礎を学ぶ
児童コース	小学生を対象に、水泳の基本練習からクロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの4泳法の習得を目指す
選手コース	水泳選手を養成するコースで、選手として必要な体力、技術、精神力を習得し、様々な大会に出場して未来のトップアスリートを目指す
成人コース	16歳以上を対象に、泳法の習得から体力の維持増進、競技力向上など目的やレベルに応じたプログラムを実施
アクアエクササイズ	浮力によって身体への負担を少なくし、水の抵抗を利用し、陸上ではできない効果的な運動を実施

※天井工事期間は、スポーツ教室（水泳・体操）は事業を縮小して実施する予定です。

(3) スポーツ版人間ドック参加者への健康維持・増進のためのフォロー事業

スポーツ版人間ドックへ参加した方の健康維持・増進を推進するための様々な教室事業を実施します。

減量脂肪燃焼教室	肥満及び肥満に伴う高血圧症や脂質異常症などの疾病を改善するため、内科医師、管理栄養士、スポーツ科学員、運動指導員が連携し、運動（スポーツ）を取り入れた規則正しい生活習慣を身につけ、体重及び体脂肪を減らすことを目的とした教室
筋力向上・姿勢改善教室	フレイル予防やロコモティブシンドロームの予防改善を目的とし、正しい姿勢で長く速く歩けること、歩行能力（速度や歩幅）、脚筋力、バランス能力、柔軟性の維持向上を目的とした教室

(4) トレーニング教室

トレーニングルームのマシンを活用し、ロコモ予防を中心にした健康・体力の維持増進を図ることを目的とした教室を実施します。

ボディメイク・筋力アップ教室	マシンを使ったトレーニング指導やストレッチポール、バランスディスクなどを用いた体幹トレーニング、自体重筋力トレーニング指導により筋力向上を目的とした教室
ストレッチ&体幹トレーニング教室	初心者の方でも受講できるようストレッチポール、バランスディスクを使った体幹を養うことを目的とした教室

(5) 健康・文化教室

スポーツ実施率向上に貢献するため、気軽に運動を始めることができる健康教室や文化系教室を実施します。

定期教室	太極拳、骨盤調整、健康ヨガ（水曜・金曜）、ハワイアンキルト、フラダンス、ピラティス、機能改善ヨガ、シェイプアップボクシング 関節ととのえ塾
------	---

(6) 各種測定事業等

アスリートのパフォーマンス向上をサポートする各種測定事業等について、次のとおり実施します。

測定事業	対象者等
アスリート測定	トップアスリート、パラアスリート、学校・企業・クラブ単位の選手
ランニング測定	トップアスリート、パラアスリート、学校・企業・クラブ単位の選手・一般市民

(7) 指定管理事業料金表

ア スポーツプログラムサービス

区分	居住区分	単位	利用料金（税込）
一般	横浜市民※2	1人1回につき	15,000円
	横浜市民以外		17,000円
ジュニア※1	横浜市民※2		7,500円
	横浜市民以外		8,500円

※1 18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を「ジュニア」区分とする。

それ以外の者を「一般区分」とする。

※2 横浜市民については、次のとおりとする。

(ア) 市の区域内に住所を有する者

(イ) 市の区域内に存する事務所又は事業所に勤務する者

(ウ) 市の区域内に存する学校に在学する者、

なお、65歳以上の者、一般区分の者で身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者については、横浜市スポーツ医科学センター条例施行規則第10条に基づき5割減免することとする。

イ 運動療法

単位	利用料金（税込）
1人1回につき	1,530円

ウ 診断書及び証明書

単位	利用料金（税込）
証明書 1通につき	550円
診断書(一般) 1通につき	1,100円
診断書(その他) 1通につき	3,000円

エ 個人利用

(ア) 単発利用

施設	年齢	単位	利用料金（税込）
25mプール	13歳以上の人	1人1回につき	600円
	13歳未満の人		300円
トレーニングルーム	13歳以上の人		1,000円
	13歳未満の人		500円

(イ)回数券

区分	トレーニングルーム	25mプール
13歳以上（全日）	9,000円/10枚	5,400円/10枚
13歳以上（夜間）	7,000円/10枚	
13歳未満（全日）		2,700円/10枚
濱とも※	7,000円/10枚	4,200円/10枚

※濱ともカードの所持者を対象とする割引。回数券購入時及び利用時に濱ともカードの提示が必要。

オ 貸切利用

(ア) 平日及び土曜日における施設貸出料金

室場	区分	A	B	C	D	1日	時間外利用	時間外占有
		9:00～ 12:00	12:00～ 15:00	15:00～ 18:00	18:00～ 21:00	9:00～ 21:00	1時間につき	
大アリーナ	全面	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	40,000円	4,166円	830円
	半面	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	20,000円	2,083円	410円
小アリーナ	1	2,500円	2,500円	2,500円	2,500円	10,000円	1,041円	210円
	2	2,500円	2,500円	2,500円	2,500円	10,000円	1,041円	210円
大研修室	全面	6,000円	6,000円	6,000円	6,000円	24,000円	2,500円	500円
中研修室	全面	4,000円	4,000円	4,000円	4,000円	16,000円	1,666円	330円
会議室	全面	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	4,000円	416円	80円
プール	全面	27,000円	27,000円	27,000円	27,000円	108,000円	11,250円	2,250円
	1レーン	4,500円	4,500円	4,500円	4,500円	18,000円	1,875円	370円
情報展示室	全面	7,000円	7,000円	7,000円	7,000円	28,000円	2,917円	580円
ライブラリー	全面	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円	12,000円	1,250円	250円

カ 日曜及び祝日における施設貸出料金

室場	区分	A	B	C'	1日	時間外利用	時間外占有
		9:00～ 12:00	12:00～ 15:00	15:00～ 17:00	9:00～ 17:00	1時間につき	
大アリーナ	全面	10,000円	10,000円	6,800円	26,800円	4,166円	830円
	半面	5,000円	5,000円	3,400円	13,400円	2,083円	410円
小アリーナ	1	2,500円	2,500円	1,800円	6,800円	1,041円	210円
	2	2,500円	2,500円	1,800円	6,800円	1,041円	210円
大研修室	全面	6,000円	6,000円	4,200円	16,200円	2,500円	500円
中研修室	全面	4,000円	4,000円	2,800円	10,800円	1,666円	330円
会議室	全面	1,000円	1,000円	800円	2,800円	416円	80円
プール	全面	27,000円	27,000円	18,360円	72,360円	11,250円	2,250円
	1レーン	4,500円	4,500円	3,060円	12,060円	1,875円	370円
情報展示室	全面	7,000円	7,000円	4,760円	18,760円	2,917円	580円
ライブラリー	全面	3,000円	3,000円	2,040円	8,040円	1,250円	250円

キ 平日及び土曜日における付帯設備利用料金

(ア) 大研修室・中研修室

名称	区分	利用料金	備考
音響Aセット	1区分 ごと	2,000円	有線マイク1本、ワイヤレスマイク2本
音響Bセット		4,000円	

(イ) 大アリーナ

区分	利用料金	備考
1区分ごと	2,400円	ワイヤレスマイク1本、CDプレーヤー、可動式鏡

(ロ) 小アリーナ1または2

区分	利用料金	備考
1区分ごと	1,200円	ワイヤレスマイク1本、CDプレーヤー、可動式鏡

(ハ) プール

区分	利用料金	備考
1区分ごと	2,400円	

ク 日曜及び祝日における付帯設備利用料金

(ア) 大研修室・中研修室

名称	区分	利用料金	備考
音響Aセット	A～B	2,000円	有線マイク1本、ワイヤレスマイク2本
	C'	1,400円	
音響Bセット	A～B	4,000円	音響Aセットにプロジェクター等を追加
	C'	2,800円	

(イ) 大アリーナ

区分	利用料金	備考
A～B	2,400円	ワイヤレスマイク1本、CDプレーヤー、可動式鏡
C'	1,600円	

(ロ) 小アリーナ1または2

区分	利用料金	備考
A～B	1200円	ワイヤレスマイク1本、CDプレーヤー、可動式鏡
C'	800円	

(ハ) プール

区分	利用料金	備考
A～B	2,400円	
C'	1,600円	

ケ アスリートメディカル事業

測定項目の保険点数に 13 円を乗じた金額

コ 診療関係

- (ア) 一般診療(次号から第 5 号までに掲げる診療以外の診療をいう。以下同じ。)を受けるときは、健康保険法(大正 11 年法律第 70 号)第 76 条第 2 項(同法第 149 条において準用する場合を含む。)及び高齢者の医療の確保に関する法律(昭和 57 年法律第 80 号)第 71 条第 1 項の規定に基づき、厚生労働大臣が定める療養の給付に要する費用の額の算定方法(以下「算定方法」という。)により算定した額。ただし、消費税法(昭和 63 年法律第 108 号)第 6 条第 1 項の規定により消費税を課されない一般診療以外の一般診療を受けるときは、当該算定した額に 1.1 を乗じて得た額(10 円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。)
- (イ) 労災診療(労働者災害補償保険法(昭和 22 年法律第 50 号)の規定により療養の給付として行われる診療をいう。)を受けるときは、算定方法を基準として市長と神奈川労働局長が協議して定める額
- (ウ) 地公災診療(地方公務員災害補償法(昭和 42 年法律第 121 号)の規定により療養補償を受ける者に係る診療をいう。)を受けるときは、算定方法を基準として市長と地方公務員災害補償基金各支部長が協議して定める額
- (エ) 公害健康被害診療(公害健康被害の補償等に関する法律(昭和 48 年法律第 111 号)の規定により療養の給付として行われる診療をいう。)を受けるときは、公害健康被害の補償等に関する法律の規定による診療報酬の額の算定方法(平成 4 年環境庁告示第 40 号)により算定した額
- (オ) 自動車損害診療(自動車(自動車損害賠償保障法(昭和 30 年法律第 97 号)第 2 条第 1 項に規定する自動車をいう。)の運行(同条第 2 項に規定する運行をいう。)により身体を害された者に係る当該運行による身体の障害に関する診療(健康保険法その他の社会保険に関する法令の規定による療養の給付又は療養として行われる診療を除く。)をいう。)を受けるときは、第 2 号により算出された額に 2.0 を乗じて得た額
- (カ) 診療に関する開示請求等(カルテ開示)

項目	単位	料金(税込)
診療録	1 枚(1 面)につき	55 円
画像等 CD	1 枚	1,100 円
文書等所見・証明書	1 通	実費
郵送等費用	1 件	実費

- (キ) 自由診療
実費相当額

2-4 スポーツ医科学を通じた各種連携・地域貢献事業

(1) 横浜スポーツ医会との連携

当協会は、「横浜スポーツ医会」と緊密な連携を図り、スポーツ医科学の推進に取り組んでいます。当センターは、横浜市内のスポーツに関心のある診療所(クリニック)間の地域連携拠点(ハブ機能)として地域医療推進の役割を担います。

(2) 当協会管理施設事業を推進するための指導員職の育成

当協会の指導員職を対象に、当センターの専門職（医師・理学療法士・スポーツ科学員・管理栄養士）を講師とする専門研修を実施します。運動療法MEC（膝・腰コース、有酸素MEC）や、横浜市医療局の疾病対策事業「心臓リハビリテーション推進事業」のプログラムのノウハウを共有し、市民の健康づくりや運動習慣を推進します。

(3) 当協会加盟団体と連携したジュニアアスリートサポート

当協会に加盟する競技団体のジュニア選手を対象に、各種測定等を実施し競技力向上をサポートします。

(4) スポーツイベントへの参加・連携

当協会が主催・共催する大規模スポーツイベント等や新横浜公園で開催される地域のスポーツイベント等に出張ブースを設置し、参加者のコンディションチェック、運動相談、施設PRを行います。

(5) 神奈川スケートリンク（愛称：横浜銀行アイスアリーナ）所属選手へのサポート

横浜銀行アイスアリーナを活動拠点としているフィギュアスケート選手に対し、理学療法士が毎週リンクを訪問して、科学的根拠に基づいた運動指導やトレーニング指導を行います。このほか、選手やコーチ、保護者向けの「けが予防のためのコンディショニング」に関する動画提供やテレビ会議システム等を用いた遠隔支援も行います。

(6) 市内教育機関に対する医科学サポート

横浜市立横浜商業高校、桐蔭横浜大学と連携し、講義や研究支援などを通じて、学生教育や運動部に対する健康支援と競技力向上のサポートを行います。また、必要に応じてSPS受診やクリニックの受診勧奨のほか、学生の現場実習（職業体験やインターン）を受け入れます。

(7) プロスポーツチームに対するサポート・支援

プロスポーツチームに対する各種サポートを行い、プロスポーツチームの競技力向上を推進します。

[サポートチーム]

横浜F・マリノス（サッカー）	ホームゲームでのメディカルサポート（整形外科医師・理学療法士の帯同）、練習時のメディカルトレーナーとして理学療法士の派遣、選手の治療・コンディショニング等の業務・担当スタッフを統括するアスリートパフォーマンスディレクターとして理学療法士の派遣を実施 受傷時の診療から復帰までのリハビリテーションやメディカルチェック機関としてチームをサポート
横浜ビー・コルセアーズ（バスケットボール）	ホームゲームでのメディカルサポート（整形外科医師・理学療法士の帯同）、練習時のメディカルトレーナーとして理学療法士を派遣。受傷時の診療から復帰までのリハビリテーションやメディカルチェック機関としてチームをサポート

(8) 中央競技団体等との連携

中央競技団体等からの依頼に基づき、トップ・パラアスリートのサポートを支援します。

[連携する中央競技団体等]

日本オリンピック委員会	日本代表選手団本部メディカルとして理学療法士を派遣し、大会の選手村本部トレーナールームの管理、選手の治療やコンディショニングサポート、競技会場における各中央競技団体メディカルの後方支援等を実施
日本パラリンピック委員会	日本代表選手団ゴールボール女子日本代表トレーナーとして理学療法士を派遣し、選手のコンディショニングサポート、生活面（食事・移動等）の支援を実施
日本スポーツ振興センター	オリンピック競技大会やアジア競技大会等の国際大会に設置される「ハイパフォーマンス・サポートセンター」のスタッフとして理学療法士を派遣し、日本代表選手をサポート
日本体操協会	器械体操や新体操、トランポリンの各種大会に帯同し、大会メディカルスタッフとして選手を支援
日本スケート連盟	フィギュアスケートの有望新人を発掘する「全国有望新人発掘合宿」に帯同し、参加選手のサポート フィギュアスケートの各種大会におけるトレーナーサポートも実施
日本陸上競技連盟	国内の主要大会（日本陸上競技選手権大会・SEIKO ゴールドエンブレム陸上・東京マラソンなど）に帯同し、トレーナーブースにおける選手サポートを実施
日本障がい者スポーツ協会	同協会より「メディカルチェック協力医療機関」として認定され、様々なパラ競技団体指定の強化指定選手のメディカルチェックの実施 パラ競技団体の要望に応じ、フィットネスチェックを実施
日本ゴールボール協会	国内外で開催される日本代表チームの合宿や遠征、各種大会にトレーナーを派遣し、選手のコンディショニングの実施 施設内ではメディカルチェックやフィットネスチェックを実施し、選手の健康管理と競技力向上を支援
横浜ラポール	全国障がい者スポーツ大会に出場する横浜市代表選手の体力測定を実施し、障がい者トップアスリートを支援

2-5 研究活動

(1) 研究促進

スポーツ医科学の知見向上のための研究活動を積極的に推進し、研究成果が市民の皆さまに享受できるように取り組みます。

[研究活動を行う職員等]

医師・スポーツ科学員・理学療法士

(2) 産官学連携の推進

横浜市で実施する「横浜ライフイノベーションプラットフォーム（「LIP. 横浜」）」に参画し、スポーツ医科学の知見をより多くの市民の皆様に享受いただけるよう、多くの企業・学術機関等との連携を一層推進します。

令和5年4月に北里大学と連携協定を締結する予定です。具体的な事業や研究について、話し合いの場を持ち、進めていきます。

2-6 新規提案事項

新規提案事項については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、取り組みます。

[第4期指定管理期間で取り組む新規提案事項・拡充事項]

拡充	産官学連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■L I P. 横浜への参画 ■外部研究開発支援補助金等を活用した取組
拡充	市内企業の健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■市内企業向けのS P Sの企画・実施 ■市内の企業・事業所へ講師派遣
拡充	心臓リハビリテーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜労災病院と連携し、内科ME C参加によるリハビリテーションの推進
新規	電子決済の導入	<ul style="list-style-type: none"> ■クレジットカード、電子マネーへの対応化
新規	予約システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> ■施設利用、教室参加等の予約システム、w e b申込化
拡充	スポーツ医科学の遠隔サポート	<ul style="list-style-type: none"> ■ビデオ会議システムを活用したスポーツ医科学サポートの実施
拡充	マラソン講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■初心者からフルマラソン参加者向け各種講座の企画
拡充	ウォーキング教室	<ul style="list-style-type: none"> ■新横浜公園を活用したウォーキング教室の企画
新規	公園内設置飲食店と協力したヘルシーレシピ	<ul style="list-style-type: none"> ■新横浜公園と連携し、管理栄養士監修のヘルシーレシピの企画
拡充	新横浜公園（日産スタジアム）との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■新横浜公園・日産スタジアムと各種事業の連携
拡充	スポーツ医科学に関する学科設置高校の体験学習受入	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ関連学科を設置する高校の実習等受入
拡充	家族で一緒に参加できるイベント開催	<ul style="list-style-type: none"> ■家族全員で参加できるスポーツ医科学イベントの企画
拡充	ジュニア指導者向けけが予防講座	<ul style="list-style-type: none"> ■ジュニア競技者の指導者・保護者を対象に、けが予防を目的とした各種講座を企画
拡充	ショートタイムトレーニング教室	<ul style="list-style-type: none"> ■トレーニング室の夜間有効活用の企画
拡充	区スポーツセンターと連携した「転倒骨折や膝・腰痛」予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ■市内スポーツセンターと連携した転倒骨折や膝・腰痛などを予防することを目的とした教室の展開
拡充	特定保健指導受診者への特典	<ul style="list-style-type: none"> ■動機付け参加者に対する運動機会の提供の推進
拡充	アスリート測定の実施日の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ■アスリート測定の対応日の拡充

令和5年度は、新規事業である「電子決済の導入」「予約システムの導入」「公園内設置飲食店と協力したヘルシーレシピ」の実現に向けて進めていきます。

3 職員配置・人材育成

3-1 令和5年度人員配置計画

(1) 機構・人員配置体制

令和5年度の機構・人員配置については次のとおりとします。

局	部	課	常勤	非常勤
		センター長（医師）		1
		管理局長	1	
		事務管理部長※1		
		総務・医事課長	1	
		事務職員	3	2
		事業調整課長	1	
		事務職員	3	2
		スポーツ科学部長※1		
		健康科学課長	1	
		運動指導員	7	9
		担当課長	1	
		スポーツ科学員	3	
		診療部長（診療所管理者）	1	
		内科長	1	
		保健師・看護師	2	4
		臨床検査技師	2	1
		管理栄養士	1	
		整形外科長	1	
		医師	3	9
		診療放射線技師	1	2
		リハビリテーション科長（コメディカル統括）	1	
		担当課長	1	
		理学療法士	8	16
		理学療法助手		9

■外勤スタッフは含まず

※1 管理局長が兼務

(2) 職員勤務シフト

部門	勤務	就業時間（例）
事務管理部	早番	8時15分～17時00分
	遅番	12時45分～21時30分
スポーツ科学部	早番	8時30分～17時15分
	遅番	12時30分～21時15分
診療部		8時45分～17時30分 (リハビリテーション科は 9時45分～18時30分)

3-2 人材育成計画

(1) 医師・医療技術職の資格取得について

スポーツ医科学の専門施設で勤務する専門職として、各分野に特化した専門資格や上位資格の取得を奨励し、医療サービスの向上に努めます。

[例]

整形外科専門医、専門理学療法士（スポーツ）、認定理学療法士（スポーツ）、公認アスレティックトレーナー

また、勤務外において大学院へ通学し、修士課程・博士課程の履修を修め、さらなる知識の向上に努めます。

(2) 運動指導員の資格取得について

指導員においては、医療職と連携し、指導技術の向上を図るとともに、必要な資格取得を行い、質の高いサービスが提供できるよう努めます。

[例]

健康運動指導士、健康運動実践指導者、介護予防主任運動指導員

(3) 事務系職員の資格取得について

センターの運営を支える事務系職員においては、管理運営に必要な資格取得を目指し、センターの質の高いサービスの提供に努めます。

[例]

公認体育施設管理士、公認体育施設運営士、公認上級体育施設管理士、診療情報管理士、上級救命講習

(4) 研修計画

全職員に対し、必要な研修の場を与え、資質向上に努めます。また、スポーツ協会職員に対する専門研修の講師等を担い、協会全体での職員資質向上を図ります。

[運動指導員に対する専門研修]

研修名	担当講師
内科研修	センター内科医
膝・腰MEC研修	センター理学療法士
トレーニング研修	センタースポーツ科学員、運動指導員

[全職種共通研修]

職種別	研修内容
全職員共通	人権啓発研修・個人情報保護研修・コンプライアンス研修
職員	[ビジネススキル向上のための基礎研修] 「聞く力・書く力・話す力・考える力・時間管理能力」向上の研修（外部機関） [事務スキル向上のための研修] 文書研修・経理研修・人事労務研修（内部研修）
責任職	管理職研修・人事考課研修・ハラスメント防止研修

※医師は個別対応による研修を実施

4 施設管理・運営体制

4-1 修繕に関する計画

当センターの諸室に係る修繕工事（電気設備、機械設備、建築）については、躯体に影響が生じないよう新横浜公園（日産スタジアム）指定管理者と緊密に連携し、当センターはもとより、スタジアムの運営にも影響を及ぼさないよう配慮した体制で実施します。必要に応じて、日産スタジアム指定管理者の構成企業を協力企業（アライアンス）とし、技術支援を受け迅速な修繕対応を実施します。それ以外の小破修繕については、発見次第、迅速に対応し施設の長寿命化に努めます。

また、横浜市が行う工事や調査に対して情報提供を行い協力します。

4-2 備品更新に関する計画

令和5年度に実施を予定する高額備品・機器の更新については、次のとおり計画して実施します。

【主な備品更新予定機器】

磁気共鳴画像診断（MR I）装置 等速性筋力測定装置 体組成計 デジタル超音波診断装置
防水ホルダー心電計 体操跳馬一式 体操つり輪一式 体操トランポリン

※詳細は、令和4年8月の予算要求時に横浜市健康福祉局に一覧表を提出済みです。

4-3 建物・設備機器の維持保全・管理体制

館内の清掃、建物及び設備機器の維持・保全については、設定する施設点検日に実施します。実施に当たり、日産スタジアムの躯体に関連する設備機器等は、新横浜公園（日産スタジアム）指定管理者と共同で行い、効率的に維持保全業務を行います。

日産スタジアム指定管理者と共同して行う主な項目

日常清掃・定期清掃・消防設備点検・自動ドア保守点検・エレベータ保守点検・空調設備点検・照明設備点検・自家用電気工作物点検・プールろ過装置点検

スポーツ医科学センターが行う主な項目

医療機器保守点検・トレーニング機器保守点検・医療ネットワーク管理・プール水質検査

4-4 安全・安心に関する計画

(1) 防火防災体制について

館内の防火防災体制については、日産スタジアム防火防災協議会の管理の下、初動対応を滞りなく行いお客様の安全・安心に努めます。

(2) 防火防災訓練計画について

日産スタジアムで開催する年2回の訓練に参加します。

また、スポーツ医科学センター単独で、避難訓練を実施します。

(3) 緊急時の対応について

緊急時の連絡体制について、センター内緊急連絡網を作成し、携帯電話・携帯メール等により情報共有の徹底を図ります。また、横浜市や新横浜公園指定管理者との緊急連絡体制を作成し、緊急時における迅速な対応を行います。

(4) 補償体制について

施設瑕疵・管理上の不備に備え、損害賠償責任保険等に加入します。

施設賠償責任保険		
	身体障害賠償責任保険	1事故につき最大5億円
	財物損壊賠償責任保険	1事故につき最大500万円
教室事業等傷害保険		
	死亡・重度後遺障害	1人につき最大300万円
	入院日額	1人につき最大4,500円
	通院日額	1人につき最大3,000円
医師賠償責任保険		
	医療行為に基づく事故(対人)	1事故につき最大2億円、1年間最大6億円
	施設管理上の事故(対人)	1事故につき最大20億円、1名最大2億円
	施設管理上の事故(対物)	1事故につき最大4,000万円
	勤務医包括担保追加条項(対人)	1事故につき最大1億円、1年間最大3億円
	看護職賠償責任保険(包括方式 対人)	1事故につき最大5,000万円、1年間最大1.5億円
	医療従事者賠償責任保険(包括方式)	5億円

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組について

館内における新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し事業に取り組みます。

4-5 市民サービス・業務水準向上に関する計画

(1) 施設貸出・個人利用について

施設貸出・個人利用については、新型コロナウイルス感染の防止を考慮しながら、次のとおり取り組みます。

ア 研修室及びアリーナ施設貸出区分

区分	時間区分	備考
A	9時00分～12時00分	
B	12時00分～15時00分	
C	15時00分～18時00分	
D	18時00分～21時00分	
C'	15時00分～17時00分	日曜・祝日に適用

※利用時間には設営・片付けの時間を含みます

イ トレーニングルーム個人利用について

平日・土曜日	9時00分～20時45分
日曜・祝日	9時00分～16時45分

ウ 25mプール個人利用

曜日	開放レーン	利用時間
火曜	6レーン	9時00分～20時45分
日曜	2レーン	9時00分～12時00分
	3レーン	12時00分～13時00分
	6レーン	13時00分～16時45分
上記以外の曜日	2レーン	9時00分～20時45分

(2) 情報展示室・ライブラリーについて

情報展示室（3階）及びライブラリー（2階）では、当センターの様々な情報を来館された皆様に発信し、スポーツ医科学センター事業の周知を推進します。

(3) モニタリング・お客様からの提言に関する取組について

ご利用いただいたお客様・患者さんからのアンケート調査（モニタリング）を実施し、施設運営の改善活動につなげます。また、お客様からの提言（広聴）についても、真摯に耳を傾け改善活動につなげます。

(4) 自主事業

令和5年度に実施する主な自主事業を次のとおりとします。

事業名	事業内容
スポーツ教室事業	スポーツの振興・普及及び競技力向上を目的とする事業
体操教室	器械体操 競技（未就学児からジュニア選手育成）
水泳教室	水泳 競技（未就学児からジュニア選手育成、一般成人）
健康・文化教室事業	健康スポーツの増進を目的とする各種教室の開催
スポーツ医科学教室事業	スポーツ医科学の知見を活かした各種教室事業
減量・脂肪燃焼教室	スポーツ医科学に基づく減量を目的とする教室
筋力向上・姿勢改善教室	S P S受診者の体力・筋力の維持向上を目的とする事業
少年野球クリニック	小中学生の野球肩・肘を防止しケガ予防を啓発する事業
ストレッチ&体幹教室	トレーニングルーム利用者を対象とした教室
フォロー事業	各種スポーツ活動を支援・競技力向上を目的とする事業
ワンポイントアドバイス	スイミルを活用した泳法フォームチェック等
自動販売機事業	飲料・アイス等の自動販売機を設置しお客様への便益提供
物販事業	施設利用に係る各種物品の販売
レンタル事業	貸しロッカー等の便益提供
アスリート測定事業	競技選手各種測定、ランニング等測定
アスリートメディカル事業	競技選手メディカルチェック・プロチーム帯同サポート等
講演事業	スポーツ医科学に関する各種講演・出張指導等
受託事業	競技団体等からの委託を受けて実施する事業
イベント事業	センター主催・当協会主催事業への出張派遣等
時間外貸出事業	諸室の指定管理時間帯以外に貸出を行う事業
その他事業	上記記載に属さない自主事業

(5) 自主事業料金表

事業名	料金等一覧 (金額は税込)				
体操教室・水泳教室	(1) 通常コース				
	コース名	対象	料金		
			週 1	週 2	週 3
	幼児	3～6歳	¥7,260	¥10,500	¥14,670
	児童	6～16歳 未満			
	水泳成人	16歳以上			
	アクアエク ササイズ				
	(2) 選手コース				
	コース名	対象	1か月料金		
	体操・水泳選手コース	幼児以上	¥15,740		
	コースの追加		¥4,230		
	(3) その他				
件名		料金			
休会・復帰等事務手数料一式		¥2,200			
教室変更手数料		¥550			
1回体験教室		¥1,820			
スポーツ傷害保険		実費 (非課税)			
スポーツ安全保険 (選手コースのみ)					
健康・文化教室事業	健康・文化教室				
	教室名・曜日	時間	対象	料金 (1回)	
	関節ととのえ塾 (月・木)	10時～11時30分	16歳 以上	¥1,500	
	太極拳 (月)	10時～11時30分		¥700	
	骨盤調整 (月)	13時30分～14時45分		¥700	
	健康ヨーガⅠ (水)	13時～14時15分		¥700	
	ハワイアンキルト (水)	13時～14時30分		¥700	
	フラダンス (木)	13時15分～14時30分		¥700	
	ピラティス (木)	18時45分～20時		¥700	
	機能改善ヨーガ (金)	13時～14時15分		¥700	
	健康ヨーガⅡ (金)	15時30分～16時45分		¥700	
	シェイプアップボ クシング (金)	18時45分～20時		¥700	
	コンディショニン グ (水・金)	11時～12時		¥1,200	

スポーツ医科学教室事業																							
減量・脂肪燃焼教室	※実施期間・プログラム内容により決定します。																						
筋力向上・姿勢改善教室	<p>(1) 参加料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時間</th> <th colspan="3">料金</th> </tr> <tr> <th>週 1</th> <th>週 2</th> <th>週 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:00～11:45</td> <td rowspan="2">¥7,340</td> <td rowspan="2">¥12,230</td> <td rowspan="2">¥17,010</td> </tr> <tr> <td>14:00～15:45</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) その他</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>件名</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休会・復帰等事務手数料一式</td> <td>¥2,200</td> </tr> <tr> <td>教室変更手数料</td> <td>¥550</td> </tr> <tr> <td>スポーツ傷害保険</td> <td>実費（非課税）</td> </tr> <tr> <td>1 回体験教室</td> <td>¥1,820</td> </tr> </tbody> </table>	時間	料金			週 1	週 2	週 3	10:00～11:45	¥7,340	¥12,230	¥17,010	14:00～15:45	件名	料金	休会・復帰等事務手数料一式	¥2,200	教室変更手数料	¥550	スポーツ傷害保険	実費（非課税）	1 回体験教室	¥1,820
時間	料金																						
	週 1	週 2	週 3																				
10:00～11:45	¥7,340	¥12,230	¥17,010																				
14:00～15:45																							
件名	料金																						
休会・復帰等事務手数料一式	¥2,200																						
教室変更手数料	¥550																						
スポーツ傷害保険	実費（非課税）																						
1 回体験教室	¥1,820																						
少年野球クリニック	<p>(1) 個人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>人数</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・中学生</td> <td rowspan="2">1 人</td> <td>¥3,000</td> </tr> <tr> <td>保護者・チーム指導者</td> <td>¥1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 団体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人数</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10～15 人</td> <td>¥50,000</td> </tr> <tr> <td>16～20 人</td> <td>¥60,000</td> </tr> <tr> <td>21～25 人</td> <td>¥67,500</td> </tr> <tr> <td>26～30 人</td> <td>¥72,000</td> </tr> <tr> <td>31～35 人</td> <td rowspan="2">30 名を超える場合、子ども一人当たり¥2,200</td> </tr> <tr> <td>36～40 人</td> </tr> </tbody> </table>	対象	人数	料金	小・中学生	1 人	¥3,000	保護者・チーム指導者	¥1,000	人数	料金	10～15 人	¥50,000	16～20 人	¥60,000	21～25 人	¥67,500	26～30 人	¥72,000	31～35 人	30 名を超える場合、子ども一人当たり¥2,200	36～40 人	
対象	人数	料金																					
小・中学生	1 人	¥3,000																					
保護者・チーム指導者		¥1,000																					
人数	料金																						
10～15 人	¥50,000																						
16～20 人	¥60,000																						
21～25 人	¥67,500																						
26～30 人	¥72,000																						
31～35 人	30 名を超える場合、子ども一人当たり¥2,200																						
36～40 人																							
ストレッチ&体幹教室	無料（ただし、トレーニングルーム利用料金は別途負担）																						
フォロー事業																							
ワンポイントアドバイス	<p>(1) スイムミル</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>一般利用者</td> <td>¥2,550</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 撮影及び映像加工</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>フォーム撮影</td> <td>¥5,000</td> </tr> <tr> <td>フォーム撮影及び画像加工</td> <td>¥8,000</td> </tr> <tr> <td>映像購入</td> <td>¥1,600</td> </tr> <tr> <td>映像購入B</td> <td>¥2,600</td> </tr> </tbody> </table>	一般利用者	¥2,550	フォーム撮影	¥5,000	フォーム撮影及び画像加工	¥8,000	映像購入	¥1,600	映像購入B	¥2,600												
一般利用者	¥2,550																						
フォーム撮影	¥5,000																						
フォーム撮影及び画像加工	¥8,000																						
映像購入	¥1,600																						
映像購入B	¥2,600																						
物販事業																							
レンタル事業	<p>(1) ロッカー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>期間</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 口</td> <td>1 か月</td> <td>¥700</td> </tr> </tbody> </table>	単位	期間	料金	1 口	1 か月	¥700																
単位	期間	料金																					
1 口	1 か月	¥700																					

アスリート測定事業	(1) 形態・体組成		
	項目	内容	料金
	形態計測A	身長・体重・体組成	¥1,300
	形態計測B	身長各部の幅・長さ	¥800
	形態計測C	周径囲	¥800
	体脂肪率A (キャリパー)	皮脂厚	¥500
	体脂肪率C	D E X A法	¥6,000
	骨年齢	骨年齢分析	¥2,300
	骨量	定量的超音波法 (Q U S)	¥1,500
	(2) 柔軟性・バランス・敏捷性他		
	項目	内容	料金
	柔軟性	体前屈 (立位・長座位)	¥400
	バランス	20秒片脚立ち	¥800
	全身反応時間	全身反応時間	¥1,300
	ステップング	5秒間のステップ回数	¥600
	左右ジャンプ	5秒間のジャンプ回数	¥600
	関節角度	姿勢チェック等	¥1,800
	足圧	足圧分布	¥1,300
	姿勢チェック (F A A B)	姿勢チェック (J I S S連携項目)	¥3,400
	最大歩行速度	歩行速度	¥1,100
	ロコモ25質問票		¥500
	(3) 全身持久力		
	項目	内容	料金
	全身持久力	呼気ガス分析	¥8,500
	乳酸作業閾値 (個人)	血中乳酸	¥7,000
	乳酸作業閾値 (団体)		¥5,000
	ランニング測定		¥8,300
	(4) 筋力		
	項目	内容	料金
	膝筋力・両脚	膝関節伸展・屈曲筋力	¥2,900
	膝筋力・片脚		¥2,000
	股関節・両側	股関節伸展・屈曲筋力	¥2,900
	股関節・片側		¥2,000
	足関節・両側	膝関節伸展・背屈筋力	¥2,900
	足関節・片側		¥2,000
	肩又は肘筋力・両腕	肩又は肘関節伸展・屈曲筋力	¥2,900
	肩又は肘筋力・片腕		¥2,000
	上肢 (肩・肘)・両側	肩・肘関節伸展・屈曲筋力	¥3,900
	上肢 (肩・肘)・片側		¥2,400
	握力	握力測定	¥600
	背筋力	背筋力測定	¥700

	(5) 瞬発力・バランス・敏捷性 他		
	項目	内容	料金
	脚伸展パワー	脚伸展パワー測定	¥800
	ジャンプ	跳躍高	¥900
	ハイパワー（無酸素Pテスト）	ハイパワー測定	¥1,700
	ミドルパワー（40秒P、間欠P）	ミドルパワー測定	¥2,800
	MART（スプリント走テスト）	血中乳酸	¥6,000
	筋持久力・両脚	膝関節伸展・屈曲筋持久力	¥2,900
	筋持久力・片脚		¥2,000
	スピード測定（歩行・走行）		¥1,400
	(6) フォーム撮影		
	項目	内容	料金
	フォーム撮影	フォーム撮影	¥5,000
	フォーム撮影・画像加工		¥8,000
	ランニング映像購入		¥1,600
	ランニング映像購入B		¥2,600
アスリートメディカル事業	測定項目の保険点数に13円を乗じた金額		
時間外貸出事業 ※条例開館時間帯以外の 利用料金	(1) 時間外利用		
	室場	単位	料金
	大アリーナ（全面）	1時間	¥4,166
	大アリーナ（半面）		¥2,083
	小アリーナ1		¥1,041
	小アリーナ2		¥1,041
	大研修室		¥2,500
	中研修室		¥1,666
	会議室		¥416
	25mプール全面		¥11,250
	25mプール1レーン		¥1,875
	情報展示室		¥2,917
	ライブラリー		¥1,250

(2) 物品の占有による時間外利用		
室場	単位	料金
大アリーナ (全面)	1 時間	¥830
大アリーナ (半面)		¥410
小アリーナ 1		¥210
小アリーナ 2		¥210
大研修室		¥500
中研修室		¥330
会議室		¥80
2.5m プール 全面		¥2,250
2.5m プール 1 レーン		¥370
情報展示室		¥580
ライブラリー		¥250

4-6 開館日・開館時間に関する計画

(1) 開館時間等（営業時間）

[施設開場・閉場]

施設開場	8時30分
施設閉場（祝日を除く月曜から土曜）	9時00分
施設閉場（日曜及び祝日）	17時00分

[営業時間]

月曜から土曜（祝日を除く）	9時00分～21時00分
日曜及び祝日	9時00分～17時00分

(2) 窓口対応時間

部門	曜日	対応時間
総合受付	月曜から土曜（祝日を除く）	8時30分～20時
	日曜及び祝日	8時30分～16時
クリニック受付	月曜から土曜（休診日を除く）	8時30分～16時

(3) 代表電話応答時間

月曜から土曜（祝日を除く）	9時00分～20時00分
日曜及び祝日	9時00分～16時00分

(4) 休館日及び施設点検日

休館日	12月29日から1月3日
施設点検日	4月から12月まで 毎月第3火曜日 1月から3月まで 毎月第3・第4火曜日

5 コンプライアンス体制

5-1 個人情報保護に関する取組 ほか

令和5年度におけるコンプライアンス体制について次のとおり取り組みます。

(1) 個人情報保護に関する取組

当協会は、法令・条例を厳格に遵守できるシステムである「プライバシーマーク」取得事業者として、厳格に個人情報を取り扱います。また、その運用基準に添って個人情報保護研修を実施します。万が一、個人情報の漏えい事故が起こった場合は、プライバシーマークマネジメントシステム（PMS）に則り、被害の拡散を防止します。事故発生時は、被害に遭われた方に対する迅速な対応・謝罪を行うとともに、横浜市へ報告し、誠実に対応します。併せて、再発防止のための取組の徹底を図ります。

個人情報保護については、従事する職員・アルバイトだけではなく、協力企業も一緒に取り組みます。

(2) 情報公開に対する体制

「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、「スポーツ協会の保有する情報の公開に関する規程」で規定しています。情報開示請求があった場合は、「開示の可否」「開示に係る文書」「開示の日時・場所」「開示方法」「担当課」等を決定し、原則14日以内に決定通知書を交付します。

(3) 人権尊重

「横浜市人権施策基本方針」（平成29年）に基づき、当協会で実施する事業について、人権尊重の視点をもって取り組みます。また、人権啓発を推進するための各種研修も実施します。

(4) ハラスメント防止

当協会では、ハラスメント防止に関する規則を整備・周知し、職員・スタッフ一人ひとりが、ハラスメントを発生させない意識の徹底を推進します。そして、職員・スタッフからの相談受付体制については、相談者が安心して相談できるよう配慮します。また、ハラスメントを防止するための研修も実施します。